

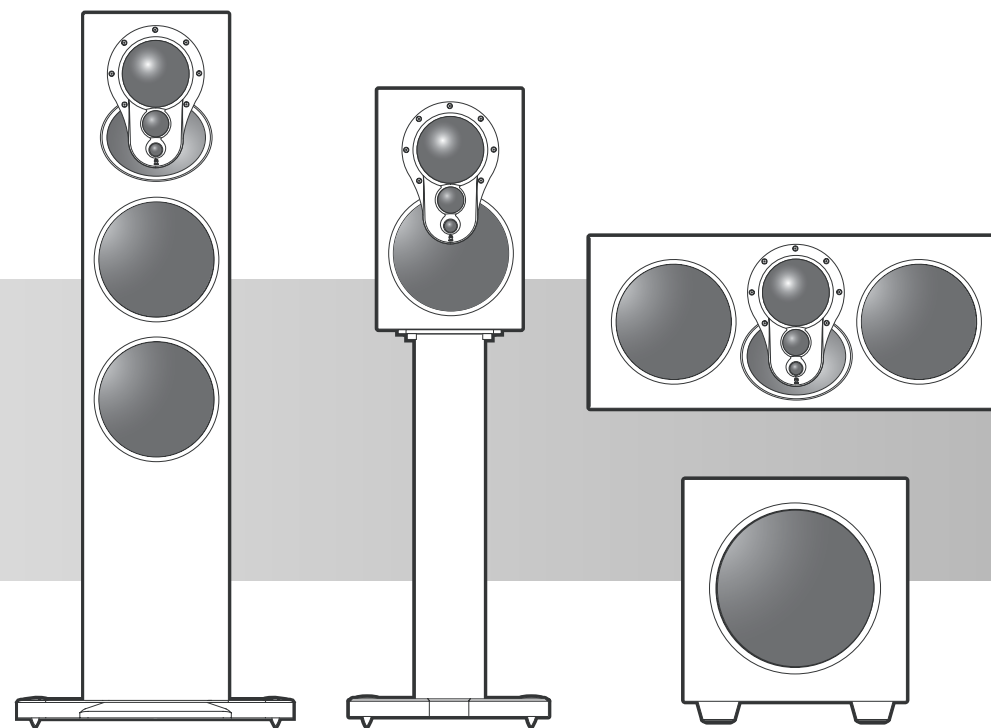


English

Français  
Deutsch  
Italiano  
Español  
Nederlands  
日本語

## AKURATE Loudspeaker Range

オーナーズマニュアル



## 安全上のご注意

本マニュアルおよび製品に付されたマークについて



危険な電圧が存在することを警告するものです。感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

### 注 意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

### 警 告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

感電の危険あり。開けないでください。

### 電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店でお求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑／黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。

### 安全注意事項

1. **説明を読む**：本製品を使用する前に、安全注意事項と操作の説明を熟読してください。
2. **説明書を保管する**：いつでも参照できるように、安全注意事項や操作説明が掲載されている文書を保管してください。
3. **警告に従う**：製品と操作説明に記載されたすべての警告事項に注意し、従ってください。
4. **指示に従う**：必ず使用や操作に関する指示を守ってください。
5. **水と湿気**：本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. **カートとスタンド**：製造者が推奨するカートとスタンドのみを使用してください。
- 6a. 機器とカートの組合せについては十分な配慮が必要です。急停止、過度な力、平らでない床などにより、機器を搭載したカートが倒れる場合があります。
7. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
8. **換気通風**：適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をベッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
9. **熱器具**：本機は、ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他アンプも含めて、熱を発するものから離して設置してください。
10. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
11. **アースと分極化**：安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
12. **電源コードの安全**：電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出す個所に注意が必要です。
13. **保護機能付きプラグ**：オーバーロード保護機能を組み込んだ付属プラグが用意されています。プラグのリセットと交換については説明書を参照してください。プラグ交換が必要になったら、もとのプラグと同じオーバーロード保護機能を有するものを使用してください。
14. **クリーニング**：必ず製造者の指示に従ってクリーニングを行ってください。
15. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
16. **屋外アンテナの接地**：チューナー／レシーバーに屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関してはNational Electrical Code ANSI/NFPA 70の810項を参照してください。
17. **雷が鳴り出した場合**：雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
18. **異物や液体の混入**：本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
19. **サービスが必要になる場合**：次のような場合は、専門技術者による修理調整が必要です。
  - a) 電源コードやプラグが破損したとき
  - b) 製品内部に異物や液体が入ったとき
  - c) 製品が雨に濡れたとき
  - d) 製品が正常に作動しないとき、また作動に明らかな異状が見られるとき
  - e) 製品を高いところから落としたとき、キャビネットに破損が生じたとき
20. **サービス**：操作説明書に記載されたことを超えて機器をご自分で修理しようとなさらないでください。専門技術者にお任せください。

## 警 告

本機器はアースする必要があります。

## CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

| 規準番号    | 制定年  | 試験形式                                                                                                                                                                                            |
|---------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| EN60065 | 2002 | 一般要件<br>マーキング<br>危険性のある放射物<br>通常条件における発熱<br>通常の作動条件における感電の危険<br>作動条件<br>絶縁要件<br>故障の要件<br>機械的な強度<br>電源に接続する部品<br>コンポーネント<br>端子装置<br>外部フレキシブルコード<br>電気接続と機械的な固定具<br>感電に対する保護<br>安定性と機械的な危険<br>耐火性 |

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

| 規準番号    | 制定年  | 試験形式 |
|---------|------|------|
| EN55013 | 2001 | 誘導排気 |
| EN55013 | 2001 | 吸収排気 |
| EN55020 | 2002 | 免責   |

## FCC 通告

### 注 記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

## 著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2003 Linn Products Ltd. 2003年7月初版

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow, G76 0EQ, Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形で保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

本書で使用されている商標：Linn (リン) および Linn のロゴは、Linn Products Ltd の登録商標です。AKURATE\*、KISTO、SIZMIK、AKTIV、SEKRIT、SKEETS は Linn Products Ltd の商標です。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

\* 特許申請中

## 目次

|                        |   |             |    |
|------------------------|---|-------------|----|
| はじめに                   | 1 | AKURATE 221 | 9  |
| AKURATE シリーズ           | 1 | 開 梱         | 9  |
| 機 能                    | 2 | 電圧の選択       | 9  |
|                        |   | 設 置         | 9  |
| AKURATE 242、225、212    | 3 | ファブリック・グリル  | 9  |
| 開 梱                    | 3 | クリーニング      | 9  |
| ファブリック・グリル             | 3 | 接 続         | 10 |
| クリーニング                 | 3 | 操 作         | 11 |
| 設置および水平とガタツキ調整         | 4 | 操作モード       | 11 |
| 接 続                    | 6 | パラメーター      | 11 |
| 一般事項                   | 6 |             |    |
| シングルワイヤリング接続           | 7 | 技術データ       | 13 |
| バイワイヤリング接続またはバイアンプ接続   | 7 |             |    |
| トライワイヤリング接続またはトライアンプ接続 | 7 | 保証とサービス     | 14 |
| リンクプレートを使用する際の注意       | 7 |             |    |
| クアッドアンプ以上の接続           | 7 |             |    |
| バスブースト                 | 8 |             |    |
| AKTIV 操作               | 8 |             |    |

## はじめに

近年、一般エンドユーザーのサウンドへの関わり方は大きく変化してまいりました。エンターテインメントシステムはより統合化され音楽と映像システムの境界線が無くなりつつあります。また進化した新たな高解像度の音楽フォーマットの人気が高まるにつれ、マルチチャンネル・システムはもはや映画ファンだけのものではなくってまいりました。

このような変化に対応し、サウンドを表現する装置も当然ながら変わっていく必要があります。現在のスピーカーには、よりフレキシブルであること、またシステムの性能を最大限に活かした高解像度で幅広いサウンドを再生できることが求められています。娯楽大作の映画で使われる迫力ある爆発音を伝えるスピーカーは同時に、情感を込めてソフトに歌う女性ボーカルの微妙な音声も再現できなければなりません。

このような条件を念頭に、LINNでは外観・音響ともにシームレスなマルチチャンネル・パフォーマンスを目標として新たに設計されたAKURATEスピーカー・シリーズを発表いたしました。

## AKURATEスピーカー・シリーズ

**AKURATE 242 :** 中程度からより広いリスニングスペースのために設計された5ウェイバスレフ・フロア型スピーカー。音楽性に優れた低音パフォーマンスのための16.5 cm Bass ドライブユニットが2本垂直に搭載されています。

**AKURATE 212 :** コンパクトな高性能4ウェイバスレフ・ブックシェルフ型スピーカー。16.5 cm Bass ドライブユニットが一本搭載され、小さめの部屋のメインスピーカー用またはサラウンド用に設計されました。最高のパフォーマンスを得るために、推奨の専用スタンドも別売にてお求めいただけます。

**AKURATE 225 :** 主としてAKURATE 242スピーカーにベストマッチするよう設計されたセンターチャンネル・スピーカー。AKURATE 242と同じドライブユニットを搭載。他のAKURATEスピーカーシリーズとも合わせて完璧にシームレスなサラウンドシステムの組合せが可能です。最高のパフォーマンスを得るために、推奨の専用スタンドも別売にてお求めいただけます。

**AKURATE 221 :** AKURATEシリーズのために開発された低域補強、AVサブウーハー。本機は余裕の500W出力スピーカーサーボ型パワーアンプによって駆動。純粋で精確な低域レスポンスのために21リットルのキャビネットに20.3 cm Bass ドライブユニットを搭載しています。

## 機能

### AKURATE 242、225、212

**Linn 3K ドライバーアレイ** (特許出願中) LINN オリジナルの3K ドライバーアレイ (中音・高音・超高音) は、最高の音の伸びとパフォーマンスを生みだし、オープンで自然なプレゼンテーションやクリアで精緻な音色と効果を発揮します。3K ドライバーアレイを構成するドライブユニットは厳密な公差範囲内にマッチングされ、音の純粋性やパフォーマンスの一貫性をシステム全体にわたって維持します。

**ユニークな Linn スピーカーシステム** 多様なマルチワイヤリング/アンプ接続やアクティブシステムへのシンプルなアップグレードを可能とする入力端子システム。ベーシックなパッシブシステムから最も理想的なアクティブシステムへと容易にアップグレードすることができます。

**高品質 16.5 cm 2層コーン型 Bass ドライブユニット** 2層のコーン型デザインにより、音楽性の高い忠実な低音再生を生み出します。

### AKURATE 242、225

**低音補強の機能** 部屋の音響特性に合わせて低音レスポンスを調整できます。

### AKURATE 242、212

**ダブルフレア・バスレフポート** ユニークな設計の「らせん状バスレフポート」によってポートを出入りする空気の乱流を低減し、キャビネット内部と外部の音響インピーダンスを適合させます。

### AKURATE 221

**新 500S アンプモジュール** AKURATE 221 サブウーハーは、定格500ワット出力のスピーカーサーボ型 LINN サイレントパワーアンプを搭載しています。Bass ドライブユニットの動きは常にモニターされパワーアンプにフィードバック、どのようなリスニング状況においても正確で充実した、品格のある低音再生が実現します。

### シリーズ共通

**SEKRIT-Fastener** ぴったりとフィットするスマートなグリル取付け構造。

**磁気シールド** テレビや携帯電話など家電製品との電磁干渉を避けるため、すべての AKURATE スピーカー・シリーズは防磁処理が施されています。

## AKURATE 242、225、212

### 開 梱

AKURATE スピーカー・シリーズは重量級スピーカーです。開梱時には十分に注意して取り扱ってください。

AKURATE 242 フロア型スピーカーには、以下の付属品が含まれています。

- スピーカースタンドキット
- 端子リンクプレート x 20 枚 (内 4 つは出荷時に装着) : 5 穴 x 4 枚、4 穴 x 4 枚、3 穴 x 4 枚、2 穴 x 8 枚
- スピーカー・プラグ x 4 個
- バスレフポート密閉栓 x 4 個 (キャビネット構造をバスレフ型から密閉型に転換する為の密閉栓)
- 端子ナット脱着工具
- スパイク調節工具
- 保証書
- 本マニュアル

AKURATE 225 センタースピーカーには、以下の付属品が含まれています。

- 端子リンクプレート x 10 枚 (内 2 つは出荷時に装着) : 5 穴 x 2 枚、4 穴 x 2 枚、3 穴 x 2 枚、2 穴 x 4 枚
- スピーカー・プラグ x 2 個
- 端子ナット脱着工具
- スパイクキット
- 保証書
- 本マニュアル

AKURATE 212 ブックシェルフ型スピーカーには、以下の付属品が含まれています。

- 端子リンクプレート x 12 枚 (内 4 つは出荷時に装着) : 4 穴 x 4 枚、3 穴 x 4 枚、2 穴 x 4 枚
- スピーカー・プラグ x 4 個
- バスレフポート密閉栓 x 2 個 (キャビネット構造をバスレフ型から密閉型に転換する為の密閉栓)
- 端子ナット脱着工具
- スパイクキット
- 保証書
- 本マニュアル

箱や梱包材は将来の輸送などに備えて保管しておいてください。

### 3K アレイの保護カバー

3K アレイの保護カバーは固定している 2 本のビニールバンドをニッパーやハサミで切取ってからお外してください。

### ファブリック・グリル

AKURATE 242、225、212 各スピーカーには出荷時、専用のグリルが装着されています。グリルはキャビネット前面の内側に隠された磁石 (防磁型) SEKRIIT-Fasteners によって保持されています。グリルを外すには、磁石から離すように下方向にスライドさせ、そっと手前に引き寄せるようにして外してください。

### クリーニング

埃や指紋は、軽く湿った柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどは表面を傷めるおそれがありますのでご使用はお控えください。グリルはキャビネットから取り外し、柔らかいブラシで慎重にお手入れください。

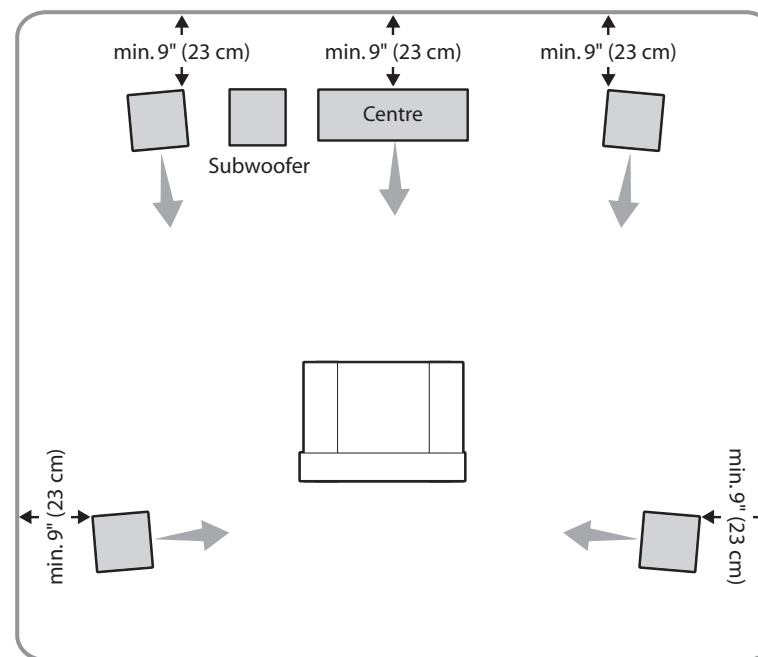
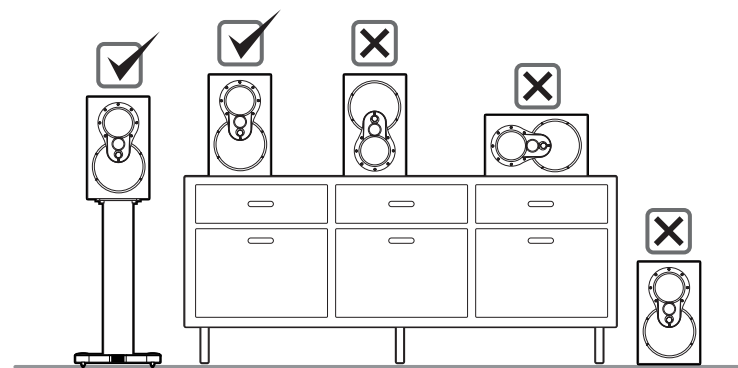
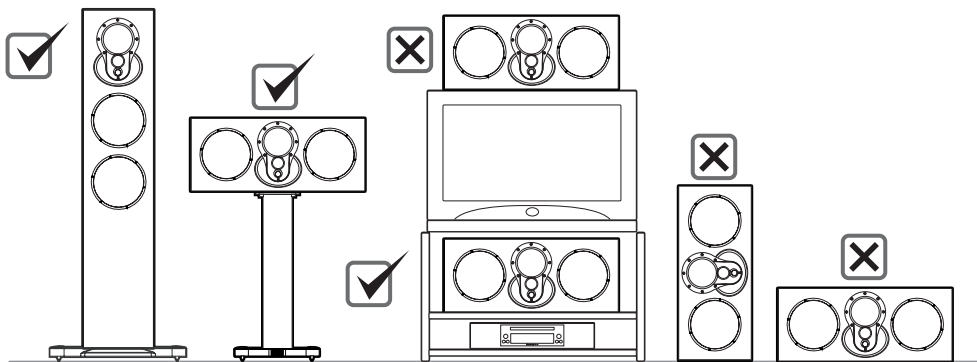
## 設置と調整

Linn AKURATE スピーカーの性能を最大限に発揮させるためには正しいセッティングが大切です。部屋の音響特性は、大きさ、形状、家具などさまざまな条件によって異なります。以下をお読みになりスピーカーの最適な設置場所を見つけ、正しいセッティングをするための参考にしてください。

### 設 置

スピーカーはその性質上、置き方をいろいろ試行してみる価値のあるコンポーネントです。ただし、AKURATE スピーカーシリーズでは3K アレイと近接ユニットレイアウトの特長により、全帯域で一貫した素晴らしい広がり特性を誇っていますので、セッティングによるパフォーマンス向上のために多大な努力を払う必要はありません。

スピーカーを壁の近くに置いた場合、低音が出過ぎてブーミーとなったり、音質に影響を与えることがあります。出来ればスピーカーの背面と壁の間に最低 23 cm 以上の空間をあけてください。背面にスペースのない場合は、付属のバスレフポート密閉栓を AKURATE 242 および 212 スピーカー背面のバスレフポートに装着してキャビネットを密閉化。ドライブ方式をリアポート・バスレフから密閉式に変換することにより、近接セッティングが可能となります。また AKURATE シリーズは、フリースペースでも効果的に機能しますが万一、低音が不足する場合、AKURATE 242 および 225 スピーカーには 200 Hz 以下の超低域周波数を補強するバスブースト機能が備わっています（「バスブースト」の項を参照）。



## 水平とガタツキの調整

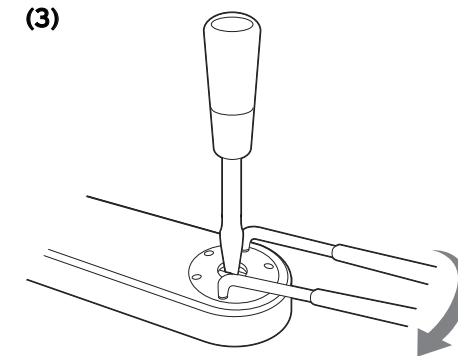
AKURATE スピーカーは水平やガタツキの正しい調整によって、そのサウンドステージや忠実な音のパフォーマンスが確実に向上します。正しく調整されたセッティングは、不安定なものに比べ数段優れた再生音を約束します。それは実際にキャビネット本体がしっかりと固定された状態であって初めて、ドライブユニットが信号に対して「忠実に振幅する」ことができるからです。なお、スパイクの高さ調整や脚によって多少ガタツキのある床面でも水平に設置することができますが、デコボコが特にひどい床の場合にはこのような調整も利かないことがありますのでお気をつけください。

AKURATE 242 スピーカーにはスパイクが、また AKURATE 225 と 212 にはスタンドが付属しています。

各スピーカーは、以下の手順で水平とガタツキの調整してください。

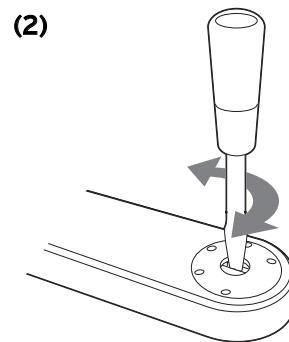
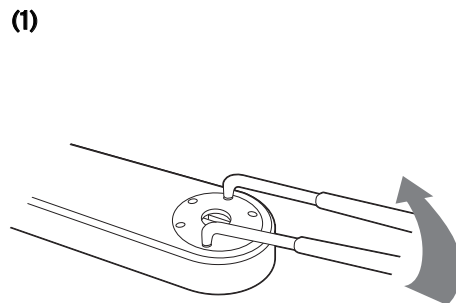
- スピーカー上部に水準器を置き、水平を確認します。次にスピーカーを前後、左右、斜めにゆっくり揺らし、ガタツキがないか調べます。
- スピーカーが水平でない、あるいは揺らした時にグラつく場合は、付属のスパイク調整用工具を用いてロックナットをゆるめ、スパイクの高さを調節します。

- スピーカーの上部を揺らして、スパイクが床面とガタツキなくきちんと接していることを確認します。
- 再び水準器で確認し、また必要に応じてスパイクを再調整します。
- スピーカーが水平になり、揺れなくなったら、付属のツールを用いてロックナットをしっかりと締めて固定します。



### 注意

板材やタイルの床をスパイクから保護したり、畳の床に設置する時に便利なスパイクマウント Linn SKEETS が別売にてお求めいただけます。



## 接 続

### 一般事項

#### 重要

スピーカーケーブルの接続や変更は、必ずパワーアンプの電源スイッチを完全に切ってから行ってください。

パワーアンプが動作中に、接続や配線変更する事は絶対にしないでください。アンプを致命的に破損させる原因となります。アンプのプラス端子(赤)がスピーカーのプラス端子と、またアンプのマイナス端子(黒)がスピーカーのマイナス端子に接続されていることを確認してください。

### AKURATE 242、225

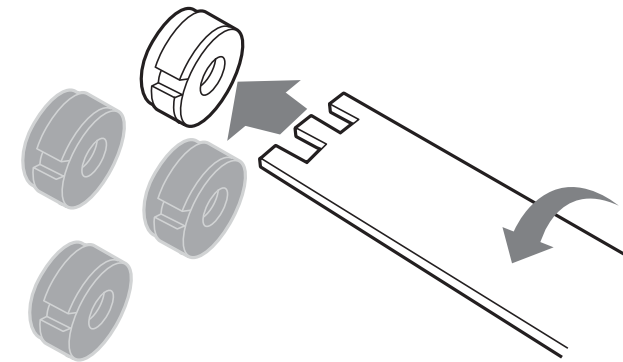
AKURATE 242 および 225 スピーカーには、入力端子用のリンクプレートがいくつか付属しています。これらのリンクプレートをスピーカー背面の端子に装着して、アンプと スピーカーの様々な接続方式が選択できます。2つから5つまでの入力端子をリンクで接続することにより、シングルワイヤリング、バイワイヤリング、トライワイヤリングをはじめ最多で5台までのパワーアンプと接続することができます。スピーカーには出荷時に5穴リンクプレート (シングルワイヤリング) が装着されています。

### AKURATE 212

AKURATE 212 スピーカーには、端子リンクプレートがいくつか付属しています。これらのリンクプレートをスピーカー背面の端子に装着して、アンプと スピーカーの様々な接続方式が選択できます。2つから4つまでの端子をリンクで接続することにより、シングルワイヤリング、バイワイヤリング、トライワイヤリングをはじめ最多で4台までのパワーアンプと接続することができます。スピーカーには出荷時に4穴リンクプレートが装着されています。

### リンクプレートの取付けと取り外し：

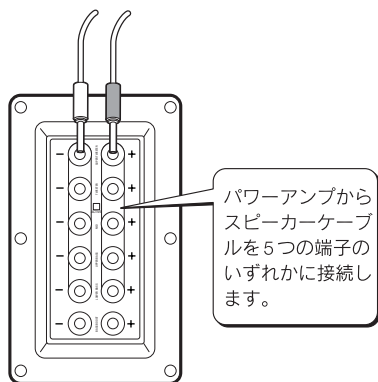
- 小さなマイナスドライバーで、端子に付いている防塵キャップを外します。
- 付属の端子ナット脱着工具を使って、端子ナットを左に回して取り外します。
- 必要なリンクプレートを取付け／取り外します。



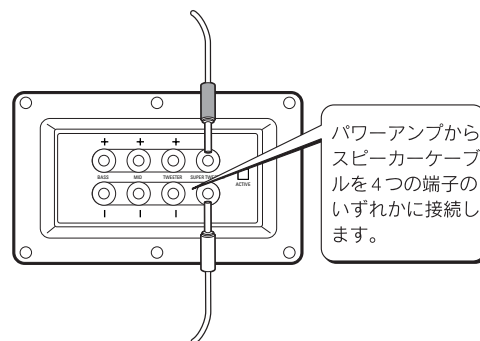
- すべての端子ナットを元どおりにはめ込み、しっかりと固定します。(全ての端子ナットをししっかりと固定します。)
- 使用しない端子に防塵キャップを取付けます。

## シングルワイヤリング接続

シングルワイヤリング (1 台のパワーアンプから 1 組のスピーカーケーブルで接続) の場合のリンクプレート位置。



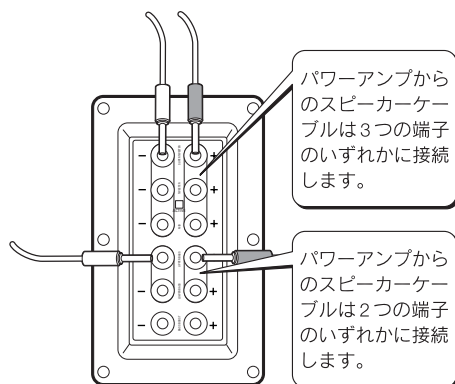
AKURATE 242 および 225



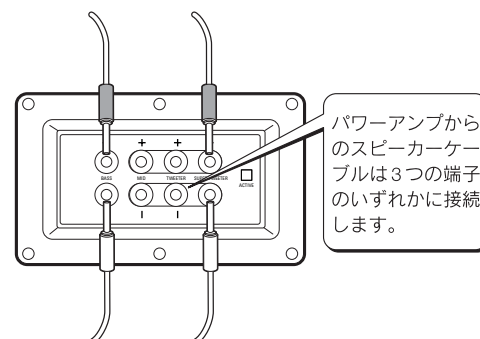
AKURATE 212

## バイワイヤリング接続またはバイアンプ接続

バイワイヤリング (1 台のパワーアンプから 2 組のスピーカーケーブルで接続) またはバイアンプ (2 台のパワーアンプから各々、スピーカーケーブルで接続) の場合のリンクプレートの取付け位置。



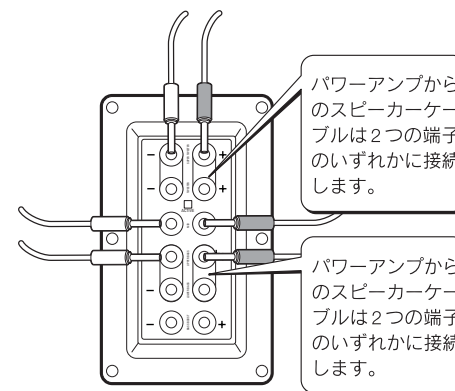
AKURATE 242 および 225



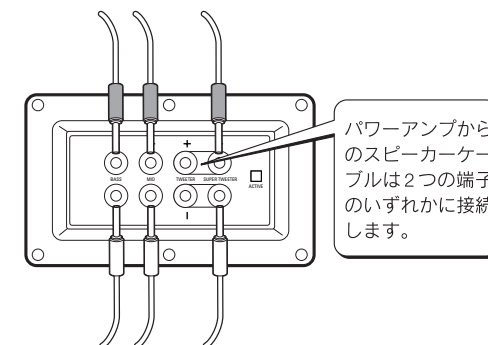
AKURATE 212

## トライワイヤリング接続またはトライアンプ接続

トライワイヤリング (1 台のパワーアンプから 3 組のスピーカーケーブルで接続) またはトライアンプ (3 台のパワーアンプから各々、スピーカーケーブルで接続) の場合のリンクプレート位置。



AKURATE 242 および 225



AKURATE 212

## リンクプレートを使用する際の注意

上記は参考例に過ぎず、他にも様々な設定が可能です。もし他の設定をされる場合は、以下の点にご注意ください。

- プラスとマイナス端子をケーブルでつなぐことは絶対にしないでください。
- 1 つの端子に複数のリンクプレートは使用しないでください。
- LOWER BASS と BASS BOOST をつないだり、UPPER BASS、LOWER BASS、BASS BOOST をいっしょにつなぐと、音質が損なわれます。

## クアッドアンプ以上の接続

AKURATE スピーカーは複数のパワーアンプを各帯域 (BASS BOOST を除く) に使用することで、一段と音質の向上をはかることができますが、真に最高のパフォーマンスを得るためには、スピーカーの駆動方式をパッシブ方式からアクティブ方式にアップグレードすることを推奨します。(「AKTIV 操作」の項を参照)。

## バスブースト (AKURATE 242 および 225 のみ)

スピーカーセッティングの際、その位置や部屋の音響特性によって 200 Hz 以下の低音を多少、補強したい場合があります。その時は、パワーアンプからのスピーカーケーブルを BASS BOOST 端子へつないでください。

**バイワイヤリング接続の場合**、4 穴リンクプレートを上 4 つのプラスおよびマイナス端子に取付けます。パワーアンプから 1 組のスピーカーケーブルで上側の入力端子につなぎ、もう 1 組を BASS BOOST 端子につなぎます。

**バイアンプ接続の場合**、3 穴リンクプレートを上 3 つのプラスおよびマイナス端子に取付けます。1 台目のパワーアンプから 1 組のスピーカーケーブルで上側の入力端子につなぎ、2 台目のパワーアンプからは UPPER BASS および BASS BOOST 端子にバイワイヤリング接続します。

**トライワイヤリング接続の場合**、3 穴リンクプレートを上 3 つのプラスおよびマイナス端子に取付けます。パワーアンプから 1 組のスピーカーケーブルで上側の入力端子につなぎ、もう 1 組のケーブルを UPPER BASS 端子に、残りの 1 組を BASS BOOST 端子につなぎます。

**トライアンプ接続の場合**、2 穴リンクプレートを上 2 つのプラスおよびマイナス端子に取付けます。1 台目のパワーアンプから 1 組のスピーカーケーブルで上側の入力端子に、また 2 台目のパワーアンプから MID 端子につなぎ、残りのパワーアンプを UPPER BASS 端子および BASS BOOST 端子にバイワイヤリング接続します。

### 注意

各スピーカー帯域に 4 台または 5 台のパワーアンプを使用する場合はリンクプレートは一切使用しません。

## AKTIV システム

AKURATE 242、225、212 各スピーカーは、パッシブ方式または上級のアクティブ方式で駆動することができます。AKURATE スピーカーはパッシブ方式でも十分な性能が得られますが、この方式では音楽信号がパワーアンプで大きなエネルギーとして増幅された後にスピーカー (内蔵のクロスオーバー) に送られ、各帯域に分割されてからドライブユニットへと送られます。パッシブ方式はこの過程で大切な音声信号が一定の損失として吸収されることとなります。一方、アクティブ方式 (LINN の AKTIV システム) では、信号がパワーアンプより前段の極めてロスの少ないアクティブ・クロスオーバーで帯域分割され、後にパワーアンプで増幅、そのままスピーカーユニットを直接ドライブします。これによりアクティブ方式ではより優れたオーディオパフォーマンスがお楽しみいただけます。

通常、AKURATE スピーカーはパッシブ設定の状態出荷されています。スピーカーをパッシブからアクティブへ転換する作業は LINN 取扱店にて承ります。またアクティブに変更する場合は、スピーカーの各ドライブユニットごとに AKTIV クロスオーバー基板を搭載した LINN パワーアンプが必要となります。詳細は LINN 取扱店までお問い合わせください。

前述のバスブースト機能はアクティブ仕様では使用しません。

なお、AKURATE 242、225、212 は部分的に中高音の 3K ドライバーアレイや Bass ドライブユニットをアクティブ駆動することも可能です。

## AKTIV システムに関する重要な注意事項

**AKTIV システムに設定したパワーアンプを他のスピーカーにご使用にならないでください。**

**AKTIV システムに転換したスピーカーを他のパワーアンプでご使用にならないでください。** クロスオーバーがバイパスされてドライブユニットを損傷することがあります。

**AKTIV システムでは端子のリンクプレートを絶対に使用しないでください。** このリンクプレートはパッシブシステムでのみ使用します。

## AKURATE 221

### 開 梱

AKURATE 221 サブウーハーは重量級スピーカーです。開梱時には十分に注意して取り扱ってください。

本機には、以下の付属品が含まれています。

- 電源ケーブル/接地アダプター
- ライン・ケーブル
- 保証書
- 本マニュアル

箱や梱包材は将来の輸送などに備えて保管しておいてください。

### 電圧の選択

AKURATE221 は自動的に供給電圧で作動しますから、選択の必要はありません。

警告 : AKURATE221 を電源につなぐときは必ずアースを接続してください。付属のアース付き電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。



本機器は必ずアースしてください。付属のアース付き成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

### 設 置

本機はどこにでも設置することができますが、以下の点にご注意ください。

- 本機はテーブルや棚の上ではなく床に直接、設置してください。また重量がありますので必ず安定した場所に置いてください。
- 最高の性能を発揮させるには、本機を左フロントまたは右フロント・スピーカーにできるだけ近く (外側に) 設置してください。
- 本機を壁近くまたはコーナーに置いた場合、特に低音域が強調されることがあります。
- 本機と組み合わせる他のスピーカーシステムや部屋の音響特性に合わせるためにも、設置場所を色々と試してみてください。

### ファブリック・グリル

AKURATE221 各スピーカーには出荷時、専用のファブリック・グリルが装着されています。このグリルはキャビネット前面の内側に隠された磁石 (防磁型) SEKRIIT-Fasteners によって保持されています。ファブリック・グリルを外すには、磁石から離すように下方向にスライドさせ、そっと手前に引き寄せるようにして外してください。

### 重要

金属製グリルは取り外さないでください。

### クリーニング

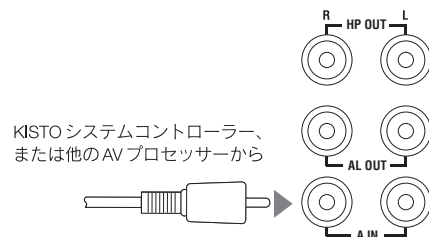
クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。埃や指紋は、乾いた柔らかいクロスで拭き取ってください。表面を傷めるおそれがありますので、家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

## 接 続

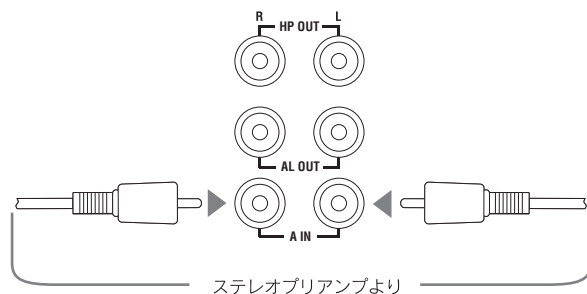
### 重要

すべてのコンポーネントの接続が完了するまでは、本機に電源ケーブルを接続しないでください。

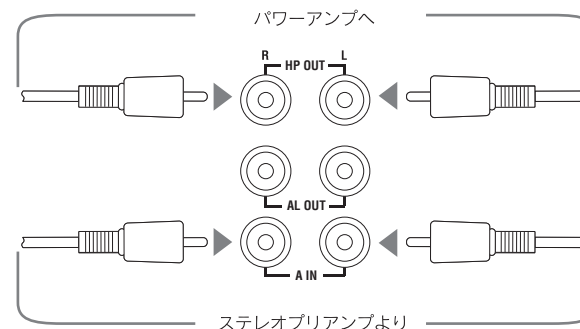
### Linn KISTO システムコントローラーまたは他の AV プロセッサーへの接続



### ステレオプリアンプに接続。広帯域スピーカー使用時 (例 : AKURATE 242 or 212)。



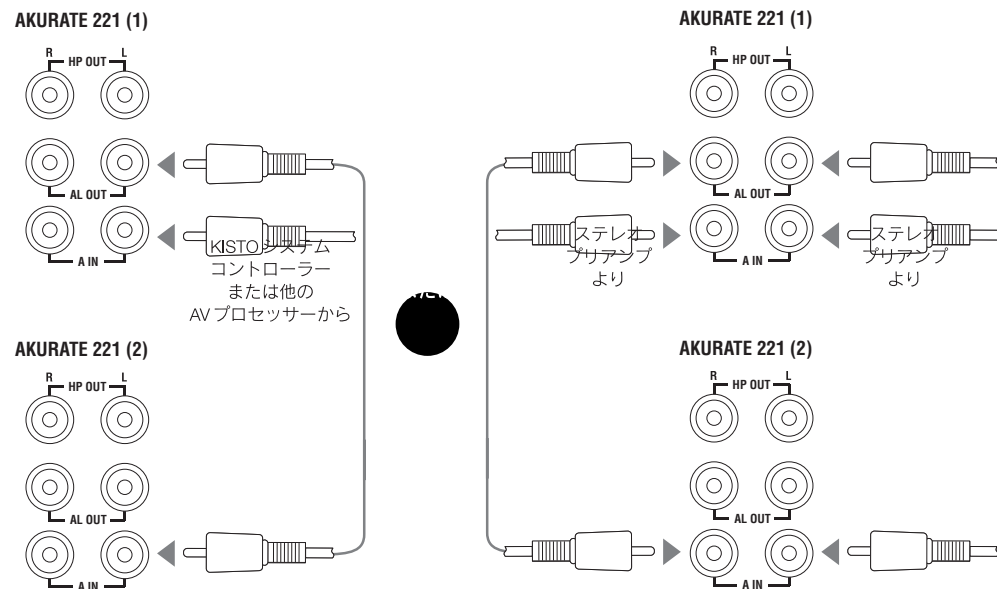
ステレオプリアンプとパワーアンプに接続。小型スピーカー (低音レスポンスに限界があるもの) に使用する場合。



### 注意

上記の設定において、AKURATE 221 サブウーハーからパワーアンプへのローカット・フィルターリングされた音楽信号は小型のメインスピーカーに重低音が送られることを防ぎます。

### 他の AKURATE 221 スピーカーへの接続



本機を付属の電源ケーブルでコンセントにつなぎます。

## 操 作

必要な信号ケーブルの接続がすべて完了したら、最後に電源ケーブルを差し込みます。背面パネルのディスプレイに点滅バーが約30秒間表示されます。サーボ回路が安定するまでのこの間は、音声出力されません。ディスプレイがスタンバイのシンボル(以下の表を参照)に変わったら、再生可能な状態です。

一度、本機の電源ケーブル抜き差しした時には、上記と同様にスタンバイ・シンボルがディスプレイに現れるまで待ってから再生を開始してください。

## 操作モード

### シンボル説明

| シンボル | モード           | 説 明                                                                                                                              |
|------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◆    | スタンバイ         | 音声信号を待っている状態。<br>このモードでの電力消費量はごく微量です。                                                                                            |
| —    | オン            | 動作状態。<br>音声信号を受けるとこのモードに入ります。                                                                                                    |
| ⌋    | サーマル<br>スタンバイ | ユニットがオーバーヒートの状態。<br>長時間の連続演奏でユニットが万一、オーバーヒートした場合、冷却のため本機は自動的にサーマルスタンバイ・モードに入ります。この間は音声出力されません。温度が通常レベルまで下がると本機は自動的にオン・モードに復帰します。 |

## パラメーター

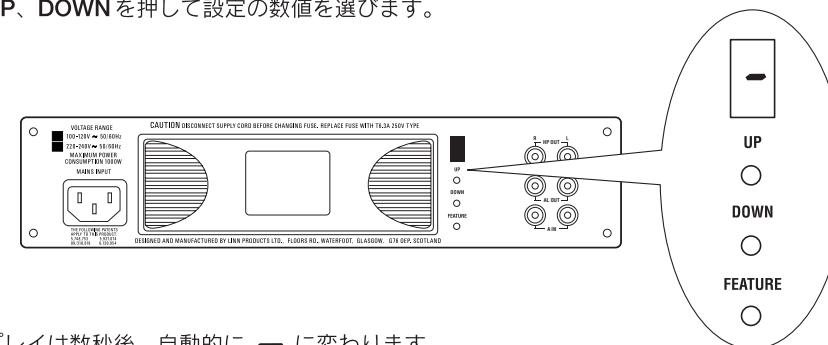
AKURATE 221 スピーカーは、お好みのパフォーマンスに合わせて調整できる7つのパラメーター(次ページ参照)を備えています。

注: パラメーターはAKURATE 221 スピーカーがスタンバイ・モード(無信号)時には調整できません。

## パラメーターの調整

調整したいパラメーターを選択するには、

- 音楽を実際に AKURATE 221 で再生します。
- **FEATURE** ボタンを指で押したまま、設定するパラメーターが表示されるまで **UP**、**DOWN** ボタンを押します。
- 設定したいパラメーターが表示されたら **FEATURE** ボタンから指を離します。
- **UP**、**DOWN** を押して設定の数値を選びます。



ディスプレイは数秒後、自動的に — に変わります。

デフォルト設定に戻すには、

- AKURATE 221 スピーカーの電源ケーブルを抜き、ディスプレイが空白になるのを待ちます。
- つぎに **FEATURE** ボタンを指で長く押したまま、電源ケーブルを差し込み、ディスプレイが **H** を表示したら **FEATURE** ボタンから指を離します。

ディスプレイは数秒後、自動的に — に変わります。

## パラメーターの設定と説明

デフォルト (工場出荷時の設定) はグレーで表示されています

| パラメーター                                                                          | 表示 | 0 | 1  | 2  | 3   | 4    | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   |
|---------------------------------------------------------------------------------|----|---|----|----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| External high pass (Hz)<br>(外部出力のローカット周波数)*<br>この設定を上げると、外部スピーカーへ送られる低音成分が減ります。 | H  |   | 10 | 50 | 75  | 100  | 115 | 135 | 160 | 190 | 235 |
| Internal high pass (Hz)<br>(本機のローカット周波数)<br>この設定を上下すると、下限周波数が上下します。             | U  |   | 18 | 22 | 25  | 30   | 34  | 40  |     |     |     |
| Internal low pass (Hz)<br>(内部ハイカット周波数)**<br>この設定を上下すると、上限周波数が上下します。             | L  |   | 55 | 85 | 130 | フラット |     |     |     |     |     |

\* AKURATE 221 スピーカーのローカットフィルター出力がパワーアンプに接続され小型スピーカーをドライブする時のみ有効。(本章「接続」の項を参照)。

\*\* AKURATE 221 スピーカーを Linn システムコントローラーや他の AV プロセッサと共に使用する場合は、表示 L の設定を 4 (フラット) に設定してください。

| パラメーター                                                                                 | 表示 | 0    | 1   | 2   | 3  | 4  | 5  | 6   | 7   | 8 | 9 |
|----------------------------------------------------------------------------------------|----|------|-----|-----|----|----|----|-----|-----|---|---|
| Coarse gain (dB)<br>(大幅なゲイン調整)<br>この設定を 1 段階、上下するとスピーカーのゲイン (音量) が 5 dB ずつ上下します。       | G  |      | -15 | -10 | -5 | 0  | +5 | +10 | +15 |   |   |
| Fine gain (dB)<br>(ゲイン微調整)<br>この設定を 1 段階、上下するごとにスピーカーのゲイン (音量) が 1 dB ずつ上下します。         | F  | 0    | +1  | +2  | +3 | +4 |    |     |     |   |   |
| Bass equalisation<br>(低音イコライゼーション)<br>この設定を 1 段階上げると、30 Hz 以下が 3 dB ずつ上がります。(dB@30 Hz) | b  | 0    | +3  | +6  |    |    |    |     |     |   |   |
| Time out (分)<br>(スタンバイ設定)<br>入力信号が終わり、スタンバイに入るまでの時間                                    | ト  | 常時オン | 5   | 10  | 20 |    |    |     |     |   |   |

## テクニカル データ

|                                     | AKURATE 242                                                                  | AKURATE 225                                                                  | AKURATE 212                                                                  |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 種類                                  | 5ウェイ・フロア型スピーカー                                                               | 5ウェイ・センタースピーカー                                                               | 4ウェイ・ブックシェルフ型スピーカー                                                           |
| ドライブユニット                            | Super Tweeter : 13 mm<br>Tweeter : 25 mm<br>Mid : 75 mm<br>Bass : 165 mm x 2 | Super Tweeter : 13 mm<br>Tweeter : 25 mm<br>Mid : 75 mm<br>Bass : 165 mm x 2 | Super Tweeter : 13 mm<br>Tweeter : 25 mm<br>Mid : 75 mm<br>Bass : 165 mm x 1 |
| 効率                                  | 87 db / 1 watt / 1 m (1 kHz)                                                 | 87 db / 1 watt / 1 m (1 kHz)                                                 | 87 db / 1 watt / 1 m (1 kHz)                                                 |
| クロスオーバー<br>オプション                    | パッシブ/アクティブ                                                                   | パッシブ/アクティブ                                                                   | パッシブ/アクティブ                                                                   |
| 低音レスポンス<br>パッシブ時                    |                                                                              | 66 Hz ~                                                                      | 70 Hz ~                                                                      |
| 低音レスポンス<br>アクティブ時                   |                                                                              | 58 Hz ~                                                                      | 50 Hz ~                                                                      |
| 公称<br>インピーダンス<br>パッシブ時              | 8 Ω                                                                          | 8 Ω                                                                          | 8 Ω                                                                          |
| インピーダンス<br>アクティブ<br>(Super Tweeter) | 4 Ω                                                                          | 4 Ω                                                                          | 4 Ω                                                                          |
| インピーダンス<br>アクティブ (Tweeter)          | 6 Ω                                                                          | 6 Ω                                                                          | 6 Ω                                                                          |
| インピーダンス<br>アクティブ (Mid)              | 8 Ω                                                                          | 8 Ω                                                                          | 8 Ω                                                                          |
| インピーダンス<br>アクティブ (Bass)             | 16 Ω                                                                         | 16 Ω                                                                         | 16 Ω                                                                         |
| クロスオーバー                             | すべて Linkwitz Riley の<br>Fourth Order (225 Hz、<br>450 Hz、3.6 kHz、9.2 kHz)     | すべて Linkwitz Riley の<br>Fourth Order (225 Hz、<br>450 Hz、3.6 kHz、9.2 kHz)     | すべて Linkwitz Riley の<br>Fourth Order (450 Hz、<br>3.6 kHz、9.2 kHz)            |
| 接続オプション                             | 最高5ウェイ<br>マルチワイヤリング<br>マルチアンプ/アクティブ                                          | 最高5ウェイ<br>マルチワイヤリング<br>マルチアンプ/アクティブ                                          | 最高4ウェイ<br>マルチワイヤリング<br>マルチアンプ/アクティブ                                          |
| 磁気シールド                              | 有                                                                            | 有                                                                            | 有                                                                            |
| キャビネット容量                            | 42 リットル                                                                      | 25 リットル                                                                      | 12 リットル                                                                      |
| 寸法                                  | 1000mm (H) x 210mm (W)<br>380 mm (D)                                         | 250 mm (H) x 600 mm (W)<br>300 mm (D)                                        | 350 mm (H) x 210 mm (W)<br>300 mm (D)                                        |
| 重量                                  | 32 kg                                                                        | 21 kg                                                                        | 12 kg                                                                        |
| 仕上げ                                 | ブラックアッシュ、<br>メープル、チェリー、<br>ローズナット                                            | ブラックアッシュ、<br>メープル、チェリー、<br>ローズナット                                            | ブラックアッシュ、<br>メープル、チェリー、<br>ローズナット                                            |

|                                | AKURATE 221                                                          |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 種類                             | 1ウェイ・サブウーハー・スピーカー                                                    |
| ドライブユニット                       | 203 mm サーボベースドライブユニット                                                |
| 主電源電圧                          | 適応範囲<br>100 V<br>115 V<br>230 V                                      |
| 電源周波数                          | 50 - 60 Hz                                                           |
| 磁気シールド                         | 有                                                                    |
| 外部メインスピーカー用<br>ローカットフィルター出力周波数 | 10 Hz - 235 Hz まで9段階で調整可。工場出荷時デフォルトは10 Hz。                           |
| ハイカットフィルター周波数                  | 55 Hz - 130 Hz までの3段階およびフラット。<br>デフォルトは85 Hz。<br>(外部ハイカットフィルターも使用可能) |
| 最低周波数レスポンスの<br>デフォルト設定値        | 24 Hz (-3 dB)                                                        |
| コースゲイン                         | 5 dB 段階で調整可。                                                         |
| ライン入力インピーダンス                   | 18 k Ω                                                               |
| ライン出力レベル                       | ライン入力とバラレル接続                                                         |
| 出力                             | 500 W RMS, 1000 W 最大                                                 |
| キャビネット容量                       | 21 リットル                                                              |
| 寸法                             | 324 mm (H) x 324 mm (W) x 324 mm (D)                                 |
| 重量                             | 17 kg                                                                |
| 仕上げ                            | ブラックアッシュ、メープル、チェリー、ローズナット                                            |

## 保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。

あるいは、[www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)にて保証登録していただけます。

### 警 告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

### 技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

[www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)

[www.linn.jp](http://www.linn.jp)

### 重 要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

#### Linn Products Limited

Glasgow Road  
Waterfoot  
Eaglesham  
Glasgow G76 0EQ  
Scotland, UK

Phone: +44 (0)141 307 7777  
Fax: +44 (0)141 644 4262  
Helpline: 0500 888909  
Email: [helpline@linn.co.uk](mailto:helpline@linn.co.uk)  
Website: [www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)

#### Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard  
Jacksonville  
FL 32216  
USA

Phone: +1 (904) 645 5242  
Fax: +1 (904) 645 7275  
Helpline: 888-671-LINN  
Email: [helpline@linninc.com](mailto:helpline@linninc.com)  
Website: [www.linninc.com](http://www.linninc.com)

#### Linn Deutschland GmbH

Albert-Einstein-Ring 19  
22761 Hamburg  
Deutschland

Phone: +49-(0) 40-890 660-0  
Fax: +49-(0) 40-890 660-29  
Email: [info@linngmbh.de](mailto:info@linngmbh.de)  
Website: [www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)

#### リン・ジャパン

101-0021  
東京都千代田区外神田 6-1-4  
神田ノーザンビル 4F

TEL: +813.5816.6881  
FAX: +813.5816.6882  
ヘルプライン: 0120 126 173  
Website: [www.linn.jp](http://www.linn.jp)